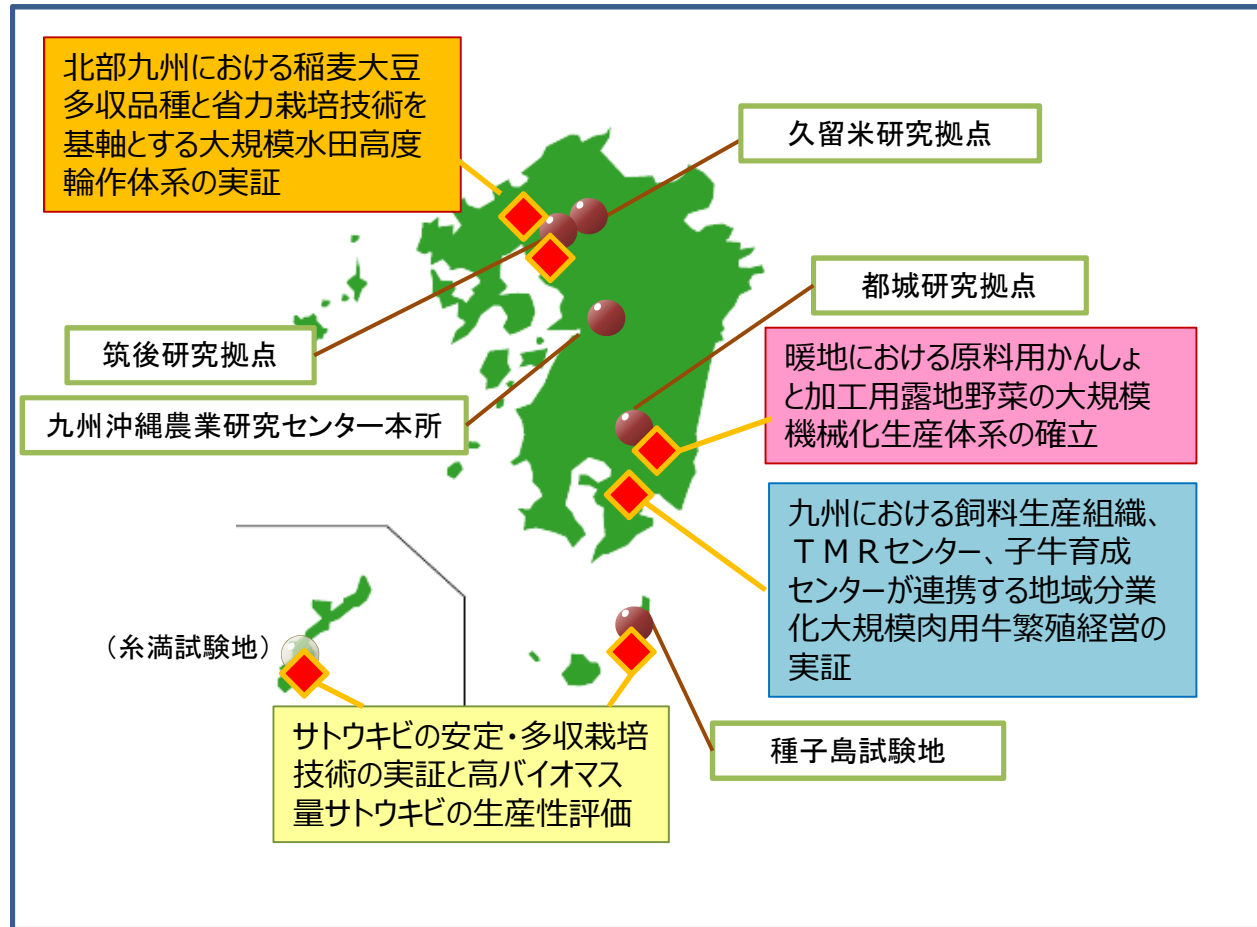


(参考資料)

現地実証試験の配置図



1. 北部九州における稲麦大豆多収品種と省力栽培技術を基軸とする大規模水田高度輪作体系の実証

◆省力・低コスト播種技術の実証

- 表層散播機による小麦・大麦、水稻乾田直播技術(大豆への汎用利用も検討)
- 麦大豆用播種機の汎用化による水稻乾田直播栽培技術、大型機械体系を利用した低コスト水田輪作体系
- 浅耕播種を改良した大豆・小麦省力栽培技術
- 大豆一工程播種・狭畦密植栽培
- べんがら・モリブデン水稻湛水直播栽培技術



表層散播機による一工程播種



部分浅耕一工程播種



べんがら・モリブデン粉衣種子のショットガン湛水直播



◆省力・低コスト栽培向け多収新品種の生産・販売

- 直播向け多収良食味水稻品種「たちはるか」の多収栽培と業務用米としての流通
- 大麦品種「はるか二条」の多収栽培と精麦用、醸造用としての流通
- 耐倒伏性で難裂莢性大豆品種「サチユタカA1号」の多収栽培と豆腐加工用としての流通



直播栽培の水稻「たちはるか」



狭畦密植の大豆「サチユタカA1号」



表層散播した大麦「はるか二条」



小麦「ラー麦」ブランド力向上のための品質安定栽培

◆省力・低コスト・多収栽培管理技術の実証

- FOEASを活用した水管理栽培
- 土壌物理性診断と漏水防止技術
- 乗用管理機搭載施肥機による麦穂揃期省力追肥
- 総合的雑草管理技術

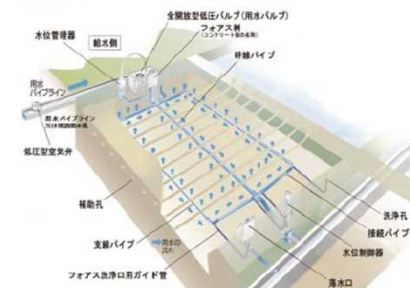


図1.地下水位制御システムFOEASの概要

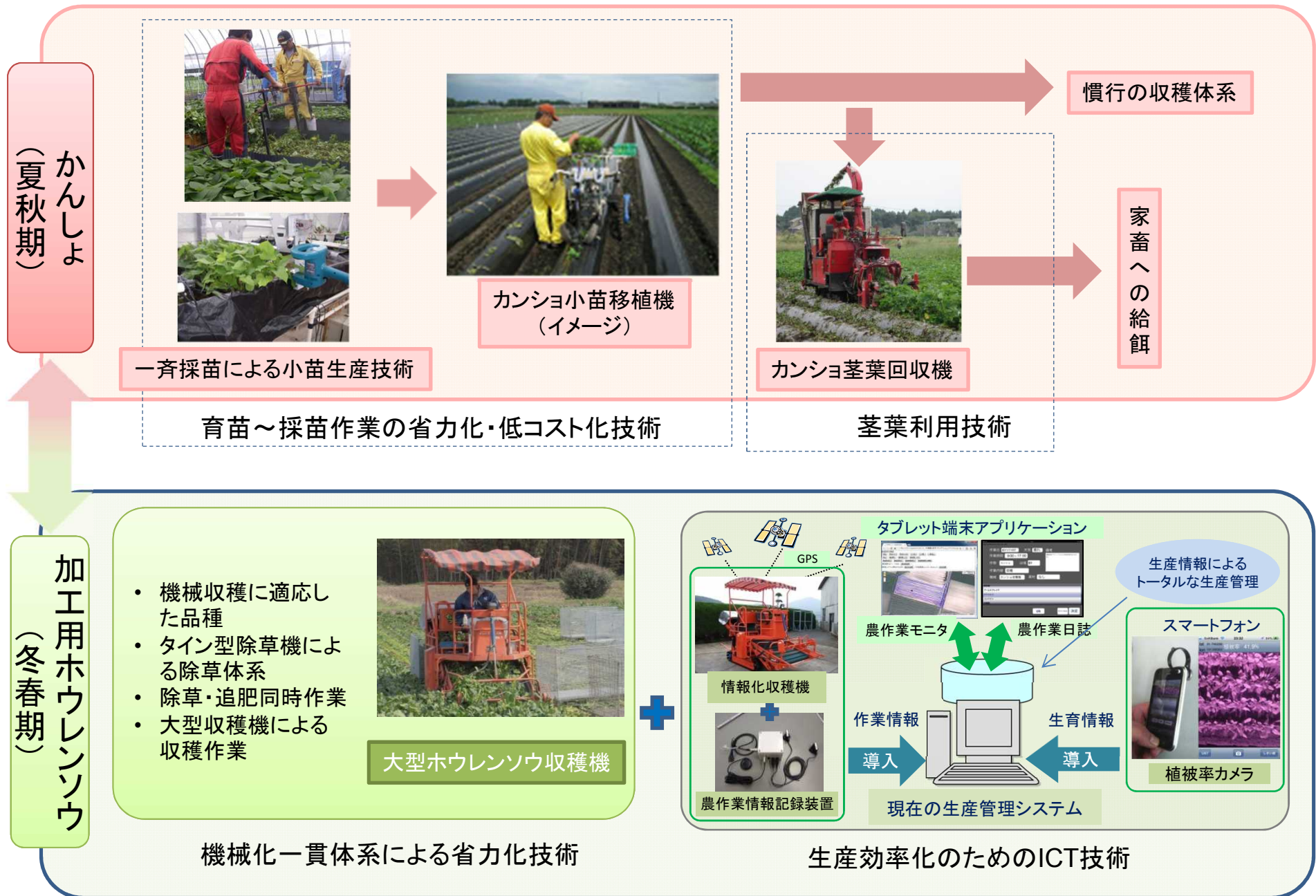
FOEASによる水管理技術



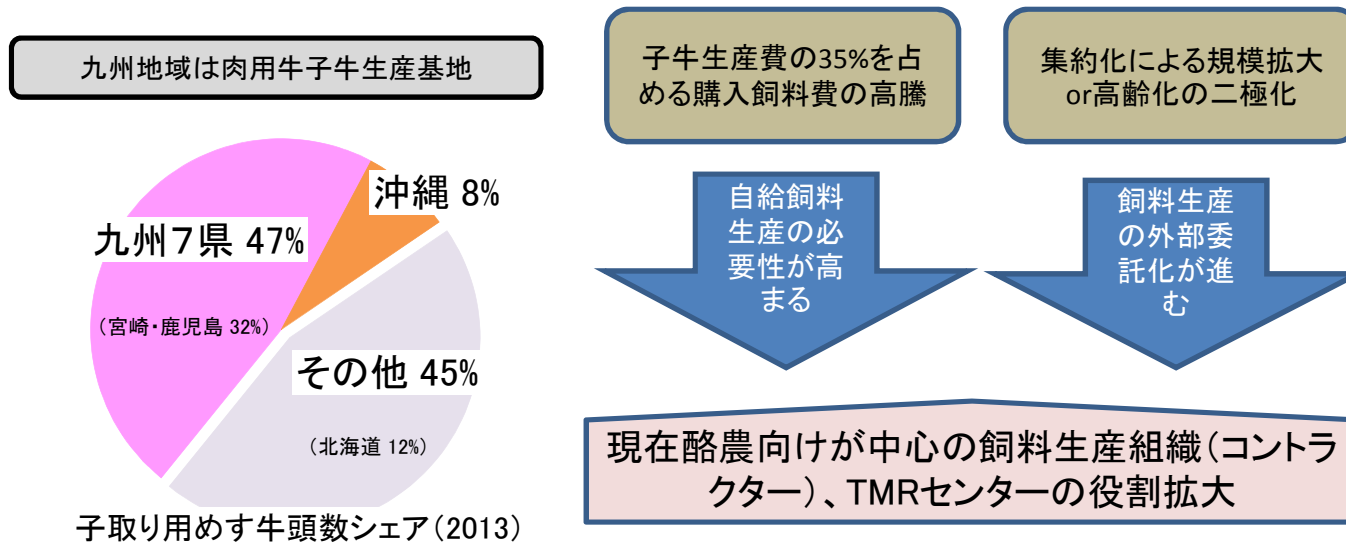
高効率乗用散布機による追肥

達成目標: 稲・麦・大豆の生産コストが大幅削減可能な輪作技術の立証

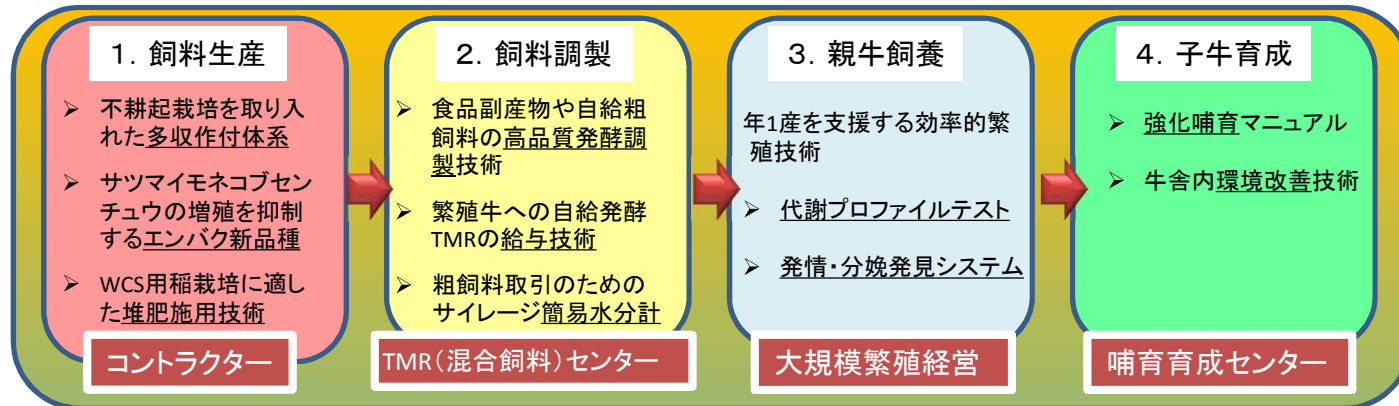
2. 暖地における原料用かんしょと加工用露地野菜の大規模機械化生産体系の確立



3. 九州における飼料生産組織、TMRセンター、子牛育成センターが連携する地域分業化大規模肉用牛繁殖経営の実証



目標: 分業組織ごとの生産効率の向上と高品質化

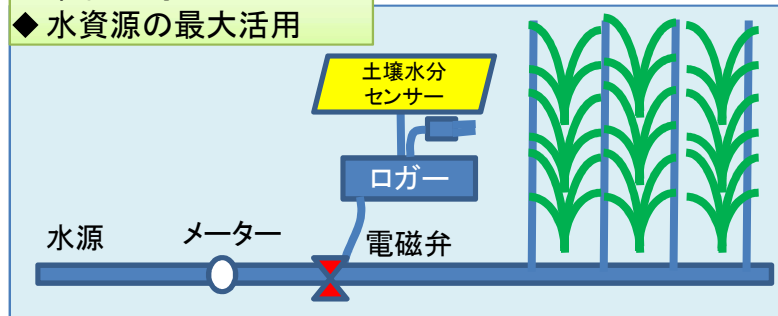


大規模実証により個別技術ごとに経済性等に及ぼす導入効果を評価

4. サトウキビの安定・多収栽培技術の実証と高バイオマス量サトウキビの生産性評価

◆ 灌水・保水を軸とした安定・多収栽培技術の実証

- ◆ 単収の向上
- ◆ 水資源の最大活用



土壌水分モニタリングによる効率的な灌水

+

有機物の効率的施用による土壌保水性の向上



残渣すきこみ



堆肥条散布

◆ 高バイオマス量サトウキビの生産性評価

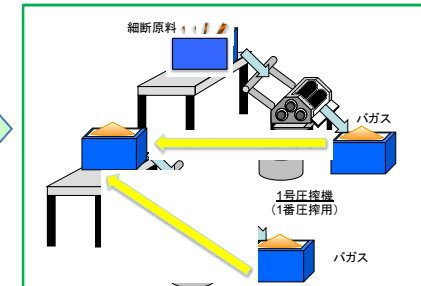
- ◆ 単収の飛躍的に向上
- ◆ 砂糖・エタノール同時増産で食料との競合を克服



高バイオマス量サトウキビの
現地での安定多収性実証



搾汁の逆転生産プロセス適性評価



繊維分と搾糖効率の関係解明

新技術導入効果の
予測モデル

革新的な技術を提案